



# 引痘心得の事



一夫痘の人身の移毒して人命を損ふこと此より甚きものならん引痘の  
 令く其移毒を預防の良法して支那及外國のりら引痘の  
 の一端ありたる風俗をその身不愛し移毒を復薬して解散をも一理  
 なれり決して禁呪妖怪術不同ならん  
 一引痘の移暑のいふは天氣不物ら良辰と根元男女大人小児の  
 きらひなく小児生れて百日の後いつとも引痘に但感冒。瘰癧。胎毒  
 枕蟲。吐乳。綠便を通す。蟹目風の兆ある等ハ引痘をさくらくと引痘をさくらくと  
 軽忽不察のりる人の性命も害なくして容易く大厄を免れりなり  
 一此引痘の引るは生るのそとて餘りし容易をくられどもたびこれを行  
 てよりハ引痘の中混入しといふも更だ傳毒再考の恐ふ然し  
 痘不真と偽とありよくこれを弁て偽痘ならんといふも真痘の生る  
 まて引るなりそのまて並に引痘と傳毒あり世に引痘ハ  
 再び出るといふことなり  
 一引痘又六日は引痘の傳毒を合併しつて外に生るハ最厳く禁むその  
 氣ハ獨ぬやうは七八日の後ハ更だ傳毒しな  
 一引痘衣履を他居不きて珠更清潔をなす 麤臭を嗅ふを忌む夏  
 清く冬は暖ふるをて行要なり  
 一引痘第十二日までは履く衾をて真偽順逆を辨ふべし 又喜怒哀哭  
 をさぬやうにして復薬を怠らば食物を慎む  
 一引痘三十日の割合せてよれり  
 鯛 金漬 すすきよりとせむいこらこいふな ちぢ 牡蠣  
 松魚 芥子 菜菔 菜菔に念んとう 芥 薑 蒜 甘藷 水な よめふ  
 赤ん坊 ぐぶせんまいぬいぬい ちぢまや ちぢまや ちぢまや  
 一林不物  
 ちぢまや ちぢまや ちぢまや ちぢまや ちぢまや ちぢまや ちぢまや ちぢまや  
 破きもの 生りの 粘滑物 香煎物  
 又辛 酢 酒 鶏卵

疑堂津川氏  
 保赤堂三宅氏  
 生榮堂星野氏  
 神水堂喜連氏  
 保和堂三宅氏

